

本資料のうち、枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-B-19-0439_改1
提出年月日	2021年10月12日

VI-2-10-1-2-1-6 非常用ディーゼル発電設備  
管の耐震性についての計算書

2021年10月  
東北電力株式会社

VI-2-10-1-2-1-6 非常用ディーゼル発電設備  
管の耐震性についての計算書

## 設計基準対象施設

## 目次

1. 概要	1
2. 概略系統図及び鳥瞰図	2
2.1 概略系統図	2
2.2 鳥瞰図	7
3. 計算条件	18
3.1 計算方法	18
3.2 荷重の組合せ及び許容応力状態	19
3.3 設計条件	20
3.4 材料及び許容応力評価条件	29
3.5 設計用地震力	30
4. 解析結果及び評価	32
4.1 固有周期及び設計震度	32
4.2 評価結果	44
4.2.1 管の応力評価結果	44
4.2.2 支持構造物評価結果	46
4.2.3 弁の動的機能維持評価結果	47
4.2.4 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果	48

## 1. 概要

本計算書は、添付書類「VI-2-1-13-6 管の耐震性についての計算書作成の基本方針」(以下「基本方針」という。)に基づき、非常用ディーゼル発電設備の管、支持構造物及び弁が設計用地震力に対して十分な構造強度及び動的機能を有していることを説明するものである。

評価結果の記載方法は、以下に示すとおりである。

### (1) 管

工事計画記載範囲の管のうち、各応力区分における最大応力評価点の評価結果を解析モデル単体に記載する。また、全21モデルのうち、各応力区分における最大応力評価点の許容値/発生値(以下「裕度」という。)が最小となる解析モデルを代表として鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載する。各応力区分における代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を4.2.4に記載する。

### (2) 支持構造物

工事計画記載範囲の支持点のうち、種類及び型式単位に反力が最大となる支持点の評価結果を代表として記載する。






### (3) 弁

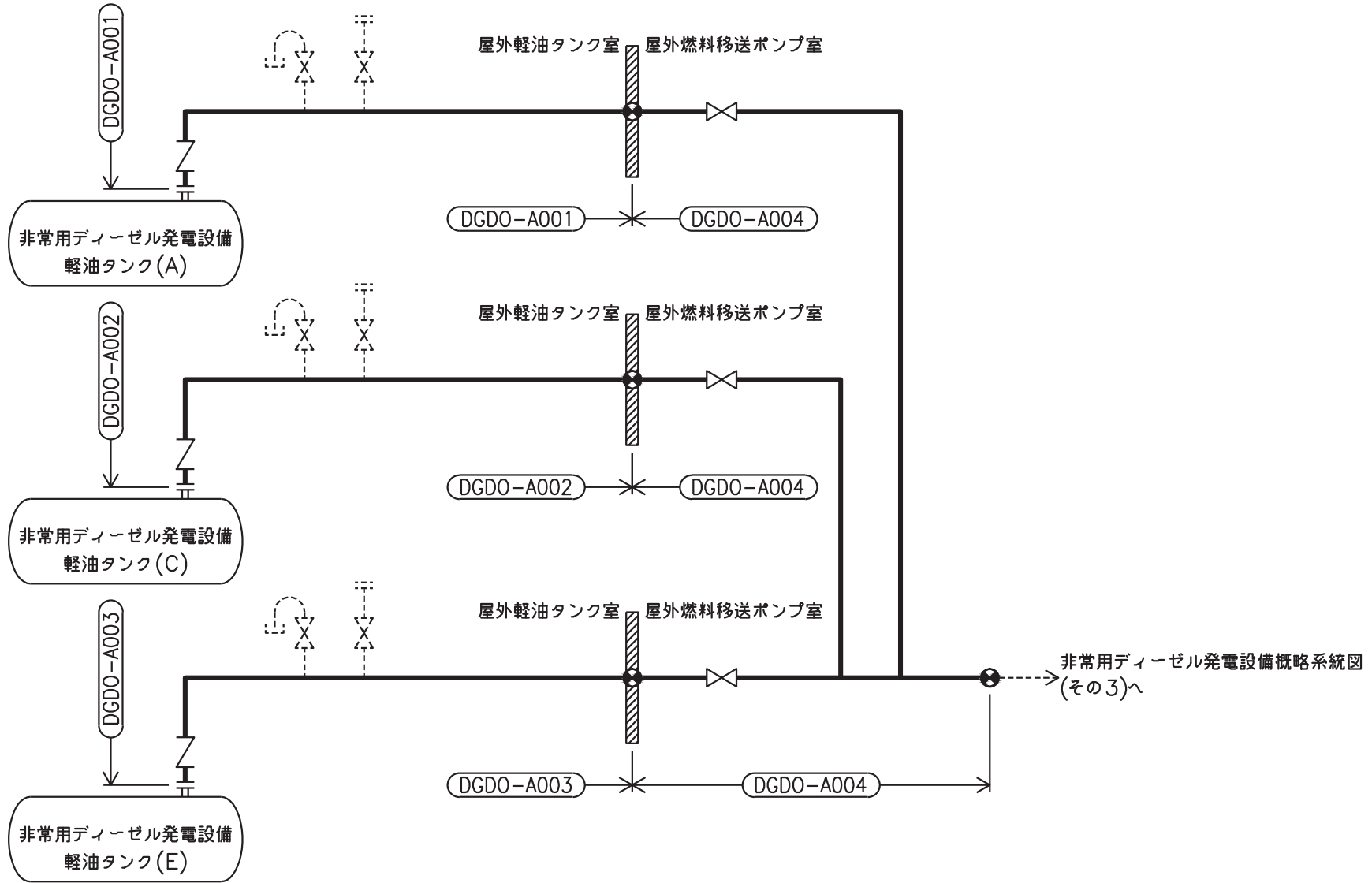
機能確認済加速度の機能維持評価用加速度に対する裕度が最小となる動的機能維持要求弁を代表として、評価結果を記載する。

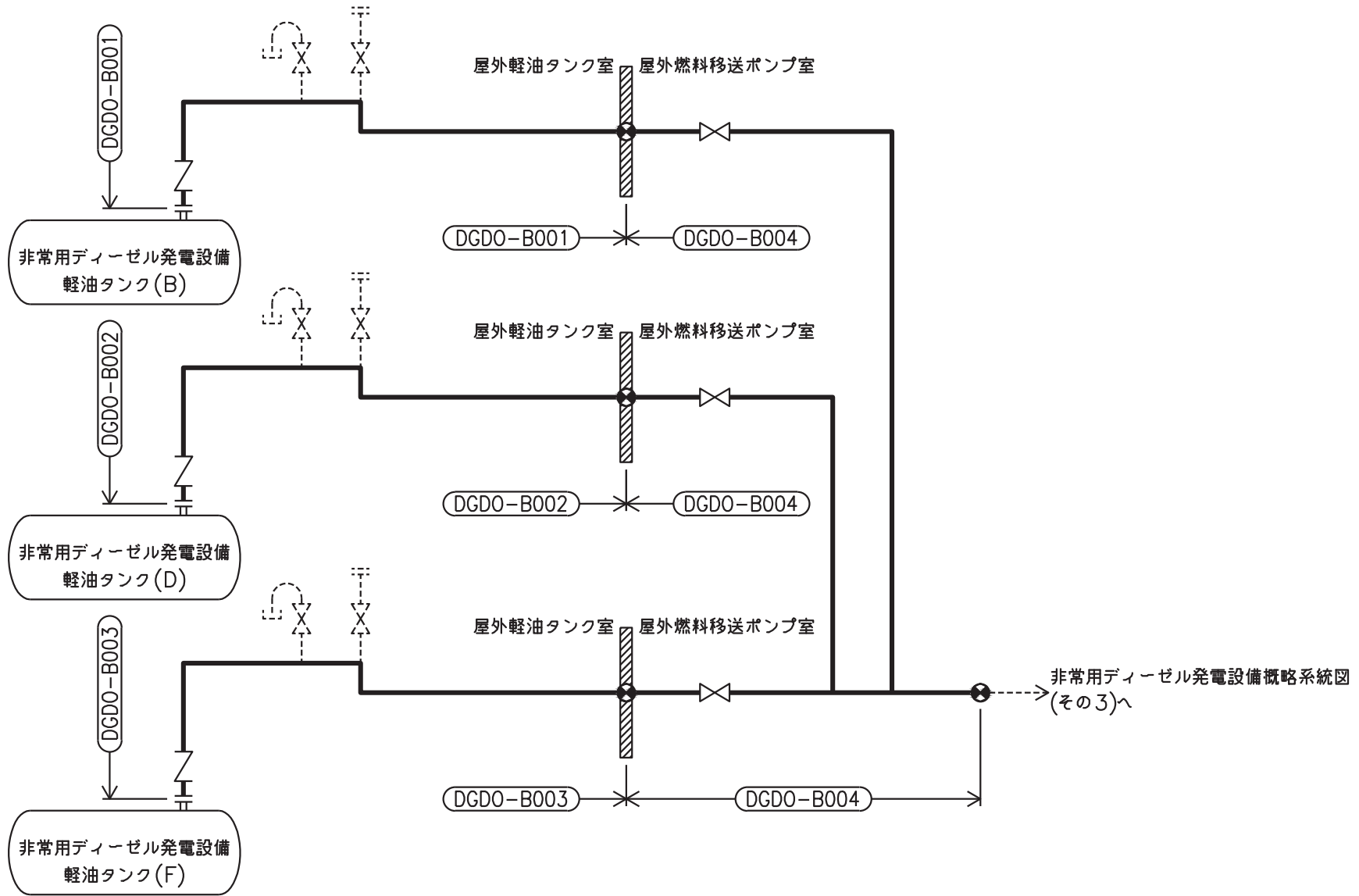
## 2. 概略系統図及び鳥瞰図

### 2.1 概略系統図

概略系統図記号凡例

記号	内容
 (太線)	工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管
 (細線)	工事計画記載範囲の管のうち、本系統の管であって他計算書記載範囲の管
 (破線)	工事計画記載範囲外の管又は工事計画記載範囲の管のうち、他系統の管であって系統の概略を示すために表記する管
	鳥瞰図番号
	アンカ

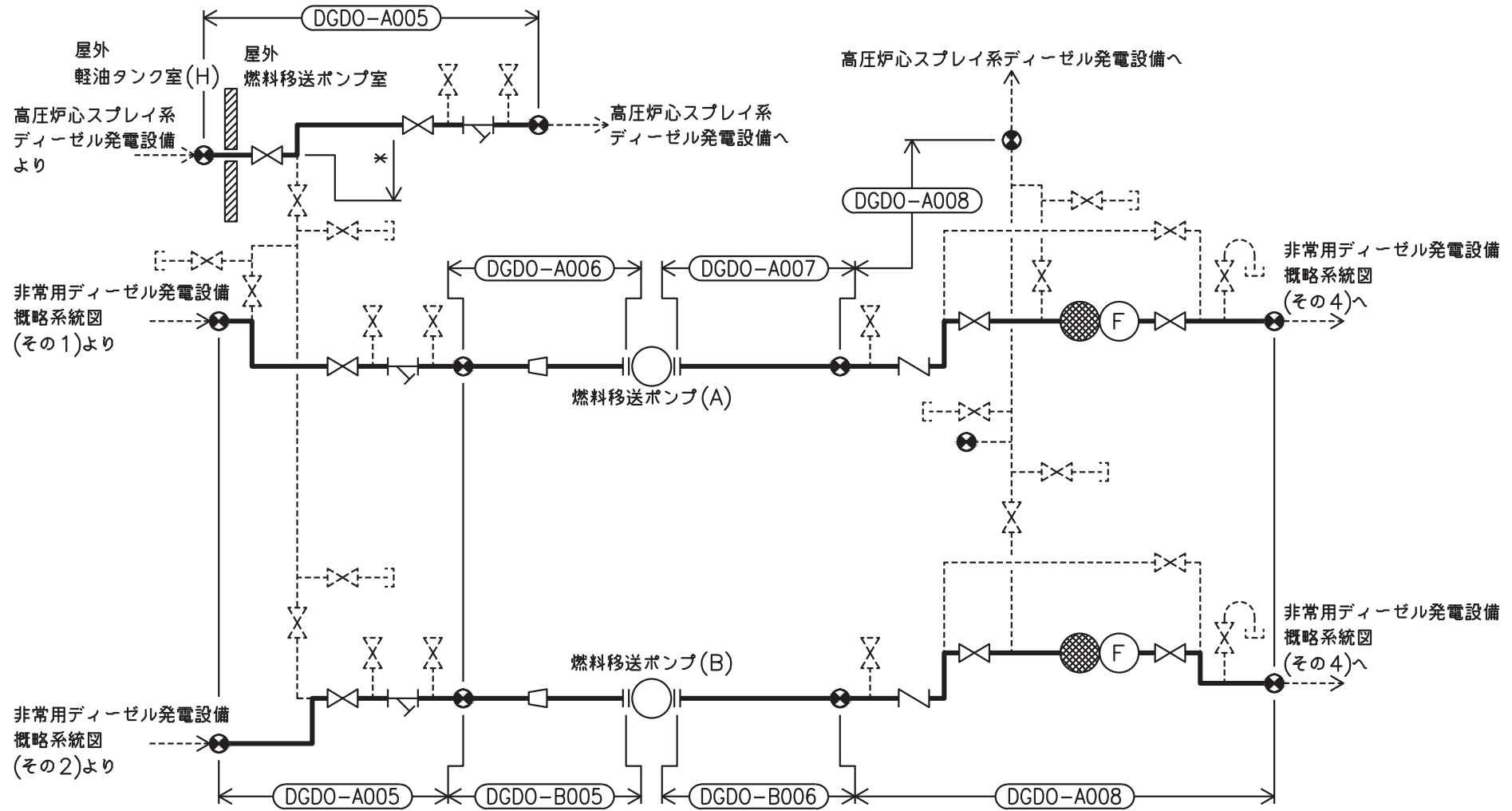




4

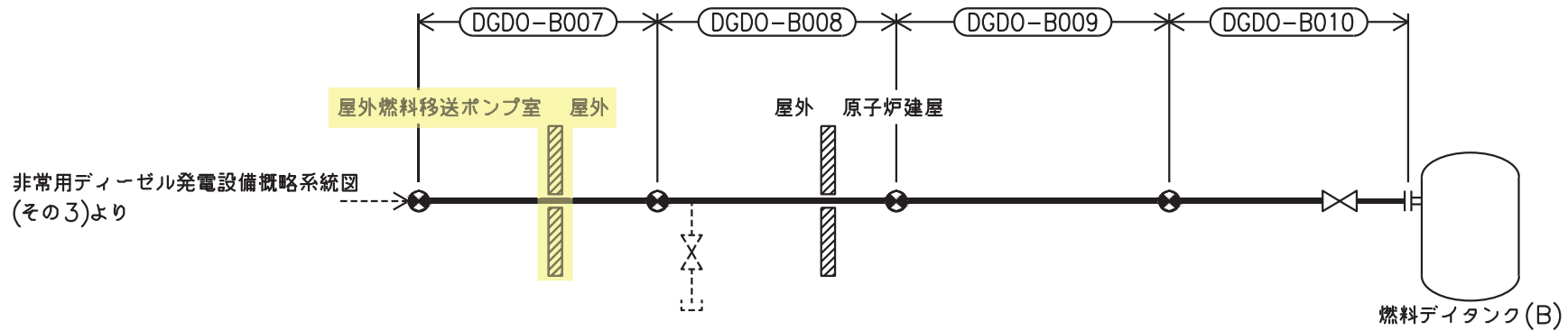
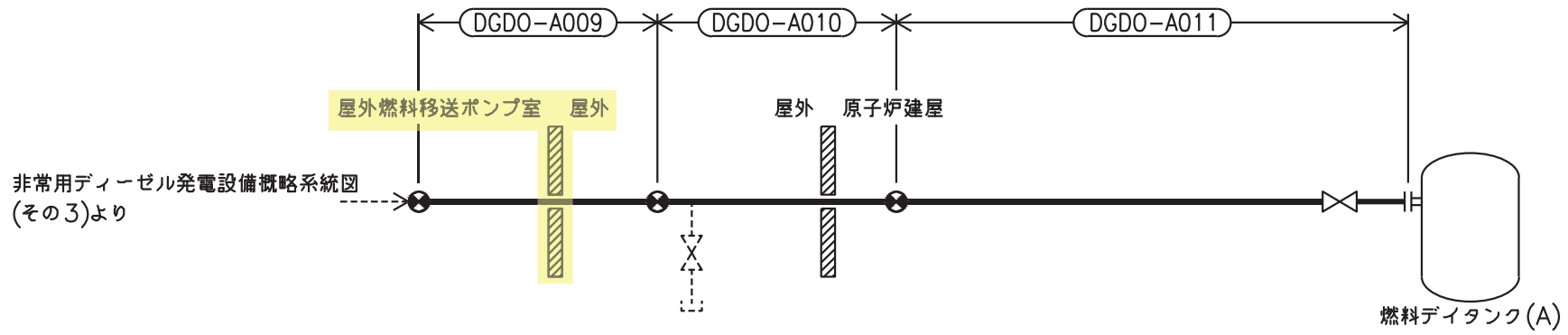
非常用ディーゼル発電設備概略系統図(その2)





注記\*：高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備  
解析モデル上本系統に含める


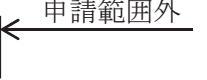



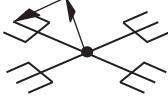
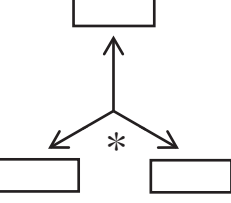
非常用ディーゼル発電設備概略系統図(その3)



非常用ディーゼル発電設備概略系統図(その4)

2.2 鳥瞰図

鳥瞰図記号凡例

記号	内容
	<p>工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管</p>
	<p>工事計画記載範囲外の管</p>
	<p>工事計画記載範囲の管のうち、他系統の管であって解析モデルとして本系統に記載する管</p>
	<p>質点</p>
	<p>アンカ</p>
	<p>レストレイント (矢印は斜め拘束の場合の全体座標系における拘束方向成分を示す。)</p>
	<p>拘束点の地震による相対変位量(mm) (*は評価点番号, 矢印は拘束方向を示す。また, <input type="text"/> 内に 変位量を記載する。)</p>

鳥瞰図 DGDO-B008< 1/6 >

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 | DGDO-B008<2/6>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDO-B008<3/6>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDO-B008< 4/6 >

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 | DGDO-B008<5/6>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



鳥瞰図 DGDO-B008<6/6>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDO-B009< 1/4>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 | DGDO-B009<2/4>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDD-B009<3/4>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 | DGDO-B009< 4/4 >

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

### 3. 計算条件

#### 3.1 計算方法

管の構造強度評価は、「基本方針」に記載の評価方法に基づき行う。解析コードは、「SOLVER」及び「NX NASTRAN」を使用し、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、添付書類「VI-5 計算機プログラム（解析コード）の概要」に示す。

3.2 荷重の組合せ及び許容応力状態

本計算書において考慮する荷重の組合せ及び許容応力状態を下表に示す。

施設名称	設備名称	系統名称	施設分類*1	設備分類	機器等の区分	耐震重要度分類	荷重の組合せ*3, *4	許容応力状態
非常用電源設備	非常用発電装置	非常用ディーゼル発電設備	DB	—	—*2	S	I <sub>L</sub> + S <sub>d</sub>	Ⅲ <sub>AS</sub>
							Ⅱ <sub>L</sub> + S <sub>d</sub>	
							I <sub>L</sub> + S <sub>s</sub>	Ⅳ <sub>AS</sub>
							Ⅱ <sub>L</sub> + S <sub>s</sub>	

注記\*1：DB は設計基準対象施設，SA は重大事故等対処設備を示す。

\*2：クラス 2, 3 管の荷重の組合せ及び許容応力状態を適用する。

\*3：運転状態の添字 L は荷重を示す。

\*4：許容応力状態ごとに最も厳しい条件又は包絡条件を用いて評価を実施する。

### 3.3 設計条件

鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管名称で区分し、管名称と対応する評価点番号を示す。

鳥 瞰 図                    D G D O - B 0 0 8

管名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	耐震 重要度分類	縦弾性係数 (MPa)
1	0.98	66	60.5	5.5	STPT370	S	200360



設計条件

管名称と対応する評価点

評価点の位置は鳥瞰図に示す。

鳥 瞰 図                    D G D O - B 0 0 8

管名称	対応する評価点												
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78
	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91
	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104
	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130
	131	132	133										

配管の質量（付加質量含む）

鳥 瞰 図 DGDO-B008

評価点の質量を下表に示す。

評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)
1		28		55		82		109	
2		29		56		83		110	
3		30		57		84		111	
4		31		58		85		112	
5		32		59		86		113	
6		33		60		87		114	
7		34		61		88		115	
8		35		62		89		116	
9		36		63		90		117	
10		37		64		91		118	
11		38		65		92		119	
12		39		66		93		120	
13		40		67		94		121	
14		41		68		95		122	
15		42		69		96		123	
16		43		70		97		124	
17		44		71		98		125	
18		45		72		99		126	
19		46		73		100		127	
20		47		74		101		128	
21		48		75		102		129	
22		49		76		103		130	
23		50		77		104		131	
24		51		78		105		132	
25		52		79		106		133	
26		53		80		107			
27		54		81		108			

支持点及び貫通部ばね定数

鳥 瞰 図            DGDO-B008

支持点部のばね定数を下表に示す。

支持点番号	各軸方向ばね定数 (N/mm)			各軸回り回転ばね定数 (N・mm/rad)		
	X	Y	Z	X	Y	Z
1						
6						
10						
12						
17						
22						
24						
28						
31						
35						
40						
44						
49						
53						
58						
60						
64						
66						
71						
75						
78						
80						
82						
84						
89						
93						
98						
102						
107						
111						

O 2 ⑤ VI-2-10-1-2-1-6 (設) R 0

支持点及び貫通部ばね定数

鳥 瞰 図            DGDO-B008

支持点部のばね定数を下表に示す。

支持点番号	各軸方向ばね定数 (N/mm)			各軸回り回転ばね定数 (N・mm/rad)		
	X	Y	Z	X	Y	Z
113						
115						
117						
119						
124						
129						
133						

O 2 ⑤ VI-2-10-1-2-1-6 (設) R 1

設計条件

鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管名称で区分し、管名称と対応する評価点番号を示す。

鳥 瞰 図                    D G D O - B 0 0 9

管名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	耐震 重要度分類	縦弾性係数 (MPa)
1	0.98	66	60.5	5.5	STPT370	S	200360

設計条件

管名称と対応する評価点

評価点の位置は鳥瞰図に示す。

鳥 瞰 図                    D G D O - B 0 0 9

管名称	対応する評価点												
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78
	79	80	81	82									

配管の質量（付加質量含む）

鳥 瞰 図 DGDO-B009

評価点の質量を下表に示す。

評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)
1		18		35		52		69	
2		19		36		53		70	
3		20		37		54		71	
4		21		38		55		72	
5		22		39		56		73	
6		23		40		57		74	
7		24		41		58		75	
8		25		42		59		76	
9		26		43		60		77	
10		27		44		61		78	
11		28		45		62		79	
12		29		46		63		80	
13		30		47		64		81	
14		31		48		65		82	
15		32		49		66			
16		33		50		67			
17		34		51		68			

O2 ⑤ VI-2-10-1-2-1-6 (設) R0

支持点及び貫通部ばね定数

鳥 瞰 図            DGDO-B009

支持点部のばね定数を下表に示す。

支持点番号	各軸方向ばね定数 (N/mm)			各軸回り回転ばね定数 (N・mm/rad)		
	X	Y	Z	X	Y	Z
1						
6						
10						
14						
18						
21						
25						
31						
35						
38						
42						
47						
52						
57						
59						
62						
66						
69						
71						
74						
76						
82						

O2 ⑤ VI-2-10-1-2-1-6 (設) R0



### 3.4 材料及び許容応力評価条件

使用する材料の最高使用温度での許容応力評価条件を下表に示す。

材料	最高使用温度 (°C)	S m (MPa)	S y (MPa)	S u (MPa)	S h (MPa)
STPT370	66	—	199	360	93

### 3.5 設計用地震力

本計算書において考慮する設計用地震力の算出に用いる設計用床応答曲線を下表に示す。

なお、設計用床応答曲線は、添付書類「VI-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針」に基づき策定したものをを用いる。また、減衰定数は、添付書類「VI-2-1-6 地震応答解析の基本方針」に記載の減衰定数を用いる。

本計算書の疲労評価は、設備ごとに個別に設定した等価繰返し回数225回（S<sub>s</sub>）で実施する。

鳥瞰図	建物・構築物	標高 (O. P. (m))	減衰定数 (%)
DGDO-B008	軽油タンク室 連絡ダクト		
	原子炉建屋		

### 設計用地震力

本計算書において考慮する設計用地震力の算出に用いる設計用床応答曲線を下表に示す。

なお、設計用床応答曲線は、添付書類「VI-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針」に基づき策定したものをを用いる。また、減衰定数は、添付書類「VI-2-1-6 地震応答解析の基本方針」に記載の減衰定数を用いる。

鳥瞰図	建物・構築物	標高(O. P. (m))	減衰定数(%)
DGDO-B009	原子炉建屋		

4. 解析結果及び評価

4.1 固有周期及び設計震度

鳥 瞰 図 DGDO-B008

適用する地震動等		S d 及び静的震度			S s			
モード	固有周期 (s)	応答水平震度*1		応答鉛直震度*1	応答水平震度*1		応答鉛直震度*1	
		X 方向	Z 方向	Y 方向	X 方向	Z 方向	Y 方向	
1 次								
2 次								
3 次								
4 次								
5 次								
6 次								
7 次								
8 次								
28 次								
29 次*2								
動的震度*3								
静的震度*4								

注記\*1：各モードの固有周期に対し、設計用床応答曲線より得られる震度を示す。

\*2：固有周期が0.050 s 以下であることを示す。

\*3：S d 又はS s 地震動に基づく設計用最大床応答加速度より定めた震度を示す。

\*4： $3.6C_I$  及び  $1.2C_V$  より定めた震度を示す。

各モードに対応する刺激係数

鳥 瞰 図 DGDO-B008

モード	固有周期 (s)	刺激係数*		
		X方向	Y方向	Z方向
1次				
2次				
3次				
4次				
5次				
6次				
7次				
8次				
28次				

注記\* : 刺激係数は、モード質量を正規化し、固有ベクトルと質量マトリックスの積から算出した値を示す。

## 代表的振動モード図

振動モード図は、3次モードまでを代表とし、各質点の変位の相対量・方向を破線で図示し、次ページ以降に示す。

鳥瞰図 DGDD-B008

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDD-B008

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



鳥瞰図 DGDD-B008

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

解析結果及び評価

固有周期及び設計震度

鳥 瞰 図 DGDO-B009

適用する地震動等		S <sub>d</sub> 及び静的震度			S <sub>s</sub>			
モード	固有周期 (s)	応答水平震度*1		応答鉛直震度*1	応答水平震度*1		応答鉛直震度*1	
		X方向	Z方向	Y方向	X方向	Z方向	Y方向	
1次								
2次								
3次								
4次								
5次								
6次								
7次								
8次								
16次								
17次*2								
動的震度*3								
静的震度*4								

注記\*1：各モードの固有周期に対し、設計用床応答曲線より得られる震度を示す。

\*2：固有周期が0.050 s以下であることを示す。

\*3：S<sub>d</sub>又はS<sub>s</sub>地震動に基づく設計用最大床応答加速度より定めた震度を示す。

\*4：3.6C<sub>I</sub>及び1.2C<sub>V</sub>より定めた震度を示す。

各モードに対応する刺激係数

鳥 瞰 図 DGDO-B009

モード	固有周期 (s)	刺激係数*		
		X方向	Y方向	Z方向
1次				
2次				
3次				
4次				
5次				
6次				
7次				
8次				
16次				

注記\* : 刺激係数は、モード質量を正規化し、固有ベクトルと質量マトリックスの積から算出した値を示す。

## 代表的振動モード図

振動モード図は、3次モードまでを代表とし、各質点の変位の相対量・方向を破線で図示し、次ページ以降に示す。

鳥瞰図 DGDD-B009

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGD□-B009

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDD-B009

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

4.2 評価結果

4.2.1 管の応力評価結果

下表に示すとおり最大応力及び疲労累積係数はそれぞれの許容値以下である。

クラス2以下の管

鳥瞰図	許容応力 状態	最大応力 評価点	最大応力 区分	一次応力評価 (MPa)		一次+二次応力評価 (MPa)		疲労評価
				計算応力	許容応力	計算応力	許容応力	疲労累積係数
				S p r m (S d)	S y *1	S n (S d)	2S y	U S d
S p r m (S s)	0.9S u	S n (S s)	2S y	U S s				
DGDO-B008	III <sub>A</sub> S	19	S p r m (S d)	61	199	—	—	—
	III <sub>A</sub> S	61	S n (S d)	—	—	228	398	—
	IV <sub>A</sub> S	19	S p r m (S s)	105	324	—	—	—
	IV <sub>A</sub> S	77	S n (S s)	—	—	439 *	398	0.3152

\*印は一次+二次応力が許容応力を超えていることを示し、簡易弾塑性解析を行い疲労評価の結果疲労累積係数が1以下であり許容値を満足している。

注記 \*1: オーステナイト系ステンレス鋼 及び 高ニッケル合金については S y と 1.2・S h のうち大きいほうの値とする。



評価結果

管の応力評価結果

下表に示すとおり最大応力及び疲労累積係数はそれぞれの許容値以下である。

クラス2以下の管

鳥瞰図	許容応力 状態	最大応力 評価点	最大応力 区分	一次応力評価 (MPa)		一次+二次応力評価 (MPa)		疲労評価
				計算応力	許容応力	計算応力	許容応力	疲労累積係数
				S p r m (S d) S p r m (S s)	S y *1 0.9 S u	S n (S d) S n (S s)	2 S y 2 S y	U S d U S s
DGDO-B009	III <sub>A</sub> S	47	S p r m (S d)	81	199	—	—	—
	III <sub>A</sub> S	47	S n (S d)	—	—	129	398	—
	IV <sub>A</sub> S	47	S p r m (S s)	125	324	—	—	—
	IV <sub>A</sub> S	47	S n (S s)	—	—	217	398	—

注記 \*1: オーステナイト系ステンレス鋼 及び 高ニッケル合金については S y と 1.2・S h のうち大きいほうの値とする。

4.2.2 支持構造物評価結果

下表に示すとおり計算応力及び計算荷重はそれぞれの許容値以下である。

支持構造物評価結果 (荷重評価)

支持構造物 番号	種類	型式	材質	温度 (°C)	評価結果	
					計算 荷重 (kN)	許容 荷重 (kN)
—	—	—	—	—	—	—

支持構造物評価結果 (応力評価)

支持構造物 番号	種類	型式	材質	温度 (°C)	支持点荷重						評価結果		
					反力 (kN)			モーメント (kN・m)			応力 分類	計算 応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)
					F <sub>x</sub>	F <sub>y</sub>	F <sub>z</sub>	M <sub>x</sub>	M <sub>y</sub>	M <sub>z</sub>			
2T2C-014-01	レストレイント	ラグ	SM400B	66	2	2	11	—	—	—	組合せ	101	118
TH-006-01	アンカ	ラグ	SM400B	66	15	1	3	0	2	1	組合せ	101	129

4.2.3 弁の動的機能維持評価結果



弁番号	形式	要求機能	機能維持評価用加速度 ( $\times 9.8 \text{ m/s}^2$ )		機能確認済加速度 ( $\times 9.8 \text{ m/s}^2$ )	
			水平	鉛直	水平	鉛直
—	—	—	—	—	—	—

4.2.4 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果 (クラス2以下の管)

No.	配管モデル	許容応力状態Ⅲ <sub>A</sub> S					許容応力状態Ⅳ <sub>A</sub> S												
		一次応力					一次応力					一次+二次応力*					疲労評価		
		評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	疲労累積係数	代表
1	DGDO-A001	29	54	231	4.27	—	29	97	366	3.77	—	29	191	462	2.41	—	—	—	—
2	DGDO-A002	12	30	231	7.70	—	12	39	366	9.38	—	12	47	462	9.82	—	—	—	—
3	DGDO-A003	12	30	231	7.70	—	12	39	366	9.38	—	12	47	462	9.82	—	—	—	—
4	DGDO-A004	12	19	231	12.15	—	12	23	366	15.91	—	36	35	398	11.37	—	—	—	—
5	DGDO-A005	65	32	199	6.21	—	65	48	324	6.75	—	190	386	462	1.19	—	—	—	—
6	DGDO-A006	6	6	199	33.16	—	6	6	324	54.00	—	6	2	398	199.00	—	—	—	—
7	DGDO-A007	1	5	199	39.80	—	1	5	324	64.80	—	1	2	398	199.00	—	—	—	—
8	DGDO-A008	83	65	199	3.06	—	83	115	324	2.81	—	83	223	398	1.78	—	—	—	—

注記\* : Ⅲ<sub>A</sub>Sの一次+二次応力の許容値はⅣ<sub>A</sub>Sと同様であることから、地震荷重が大きいⅣ<sub>A</sub>Sの一次+二次応力裕度最小を代表とする。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果 (クラス2以下の管)

No.	配管モデル	許容応力状態Ⅲ <sub>A</sub> S					許容応力状態Ⅳ <sub>A</sub> S													
		一次応力					一次応力					一次+二次応力*					疲労評価			
		評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	疲労累積係数	代表	
9	DGDO-A009	21	29	199	6.86	—	21	40	324	8.10	—	7	160	398	2.48	—	—	—	—	
10	DGDO-A010	34	66	199	3.01	—	34	115	324	2.81	—	76	285	398	1.39	—	—	—	—	
11	DGDO-A011	13	24	199	8.29	—	13	35	324	9.25	—	12	88	398	4.52	—	—	—	—	
12	DGDO-B001	1	24	231	9.62	—	1	33	366	11.09	—	1	46	462	10.04	—	—	—	—	
13	DGDO-B002	1	25	231	9.24	—	1	34	366	10.76	—	1	49	462	9.42	—	—	—	—	
14	DGDO-B003	1	24	231	9.62	—	31	35	366	10.45	—	31	62	462	7.45	—	—	—	—	
15	DGDO-B004	40	17	199	11.70	—	40	22	324	14.72	—	40	39	398	10.20	—	—	—	—	
16	DGDO-B005	6	6	199	33.16	—	6	6	324	54.00	—	6	2	398	199.0	—	—	—	—	
17	DGDO-B006	1	5	199	39.80	—	1	5	324	64.80	—	1	2	398	199.0	—	—	—	—	

注記\* : Ⅲ<sub>A</sub>Sの一次+二次応力の許容値はⅣ<sub>A</sub>Sと同様であることから、地震荷重が大きいⅣ<sub>A</sub>Sの一次+二次応力裕度最小を代表とする。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果 (クラス2以下の管)

No.	配管モデル	許容応力状態Ⅲ <sub>A</sub> S					許容応力状態Ⅳ <sub>A</sub> S												
		一次応力					一次応力					一次+二次応力*					疲労評価		
		評価点	計算 応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	計算 応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	計算 応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	疲労 累積 係数	代表
18	DGDO-B007	1	45	199	4.42	—	1	68	324	4.76	—	9	142	398	2.80	—	—	—	—
19	DGDO-B008	19	61	199	3.26	—	19	105	324	3.08	—	77	439	398	0.90	○	61	0.4011	○
20	DGDO-B009	47	81	199	2.45	○	47	125	324	2.59	○	47	217	398	1.83	—	—	—	—
21	DGDO-B010	18	32	199	6.21	—	18	43	324	7.53	—	18	79	398	5.03	—	—	—	—

注記\* : Ⅲ<sub>A</sub>Sの一次+二次応力の許容値はⅣ<sub>A</sub>Sと同様であることから、地震荷重が大きいⅣ<sub>A</sub>Sの一次+二次応力裕度最小を代表とする。

## 重大事故等対処設備

## 目次

1. 概要	1
2. 概略系統図及び鳥瞰図	2
2.1 概略系統図	2
2.2 鳥瞰図	7
3. 計算条件	18
3.1 計算方法	18
3.2 荷重の組合せ及び許容応力状態	19
3.3 設計条件	20
3.4 材料及び許容応力評価条件	29
3.5 設計用地震力	30
4. 解析結果及び評価	32
4.1 固有周期及び設計震度	32
4.2 評価結果	44
4.2.1 管の応力評価結果	44
4.2.2 支持構造物評価結果	46
4.2.3 弁の動的機能維持評価結果	47
4.2.4 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果	48



## 1. 概要

本計算書は、添付書類「VI-2-1-13-6 管の耐震性についての計算書作成の基本方針」(以下「基本方針」という。)に基づき、非常用ディーゼル発電設備の管、支持構造物及び弁が設計用地震力に対して十分な構造強度及び動的機能を有していることを説明するものである。

評価結果の記載方法は、以下に示すとおりである。

### (1) 管

工事計画記載範囲の管のうち、各応力区分における最大応力評価点の評価結果を解析モデル単体に記載する。また、全21モデルのうち、各応力区分における最大応力評価点の許容値/発生値(以下「裕度」という。)が最小となる解析モデルを代表として鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載する。各応力区分における代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を4.2.4に記載する。

### (2) 支持構造物






工事計画記載範囲の支持点のうち、種類及び型式単位に反力が最大となる支持点の評価結果を代表として記載する。

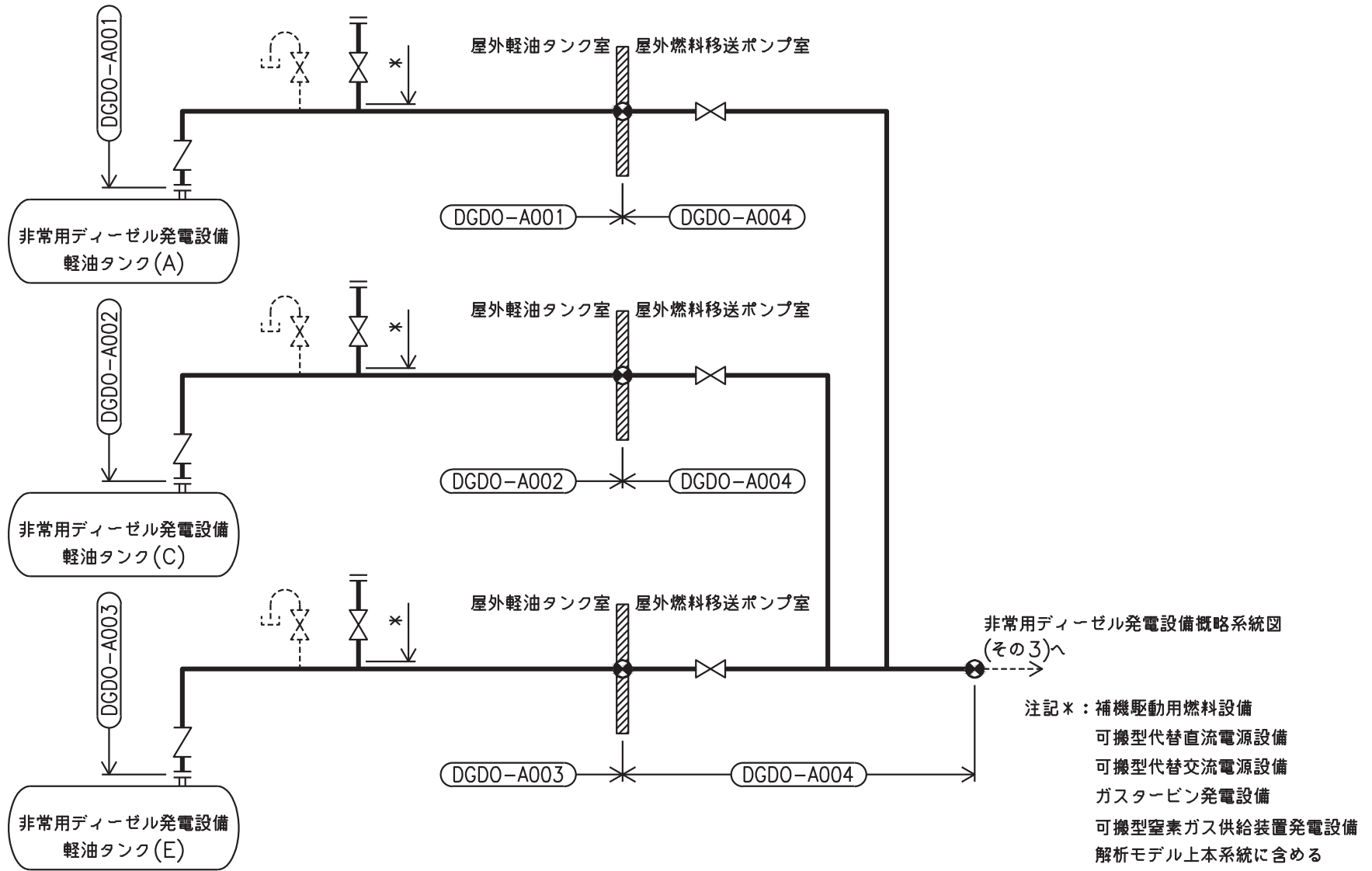
### (3) 弁

機能確認済加速度の機能維持評価用加速度に対する裕度が最小となる動的機能維持要求弁を代表として、評価結果を記載する。

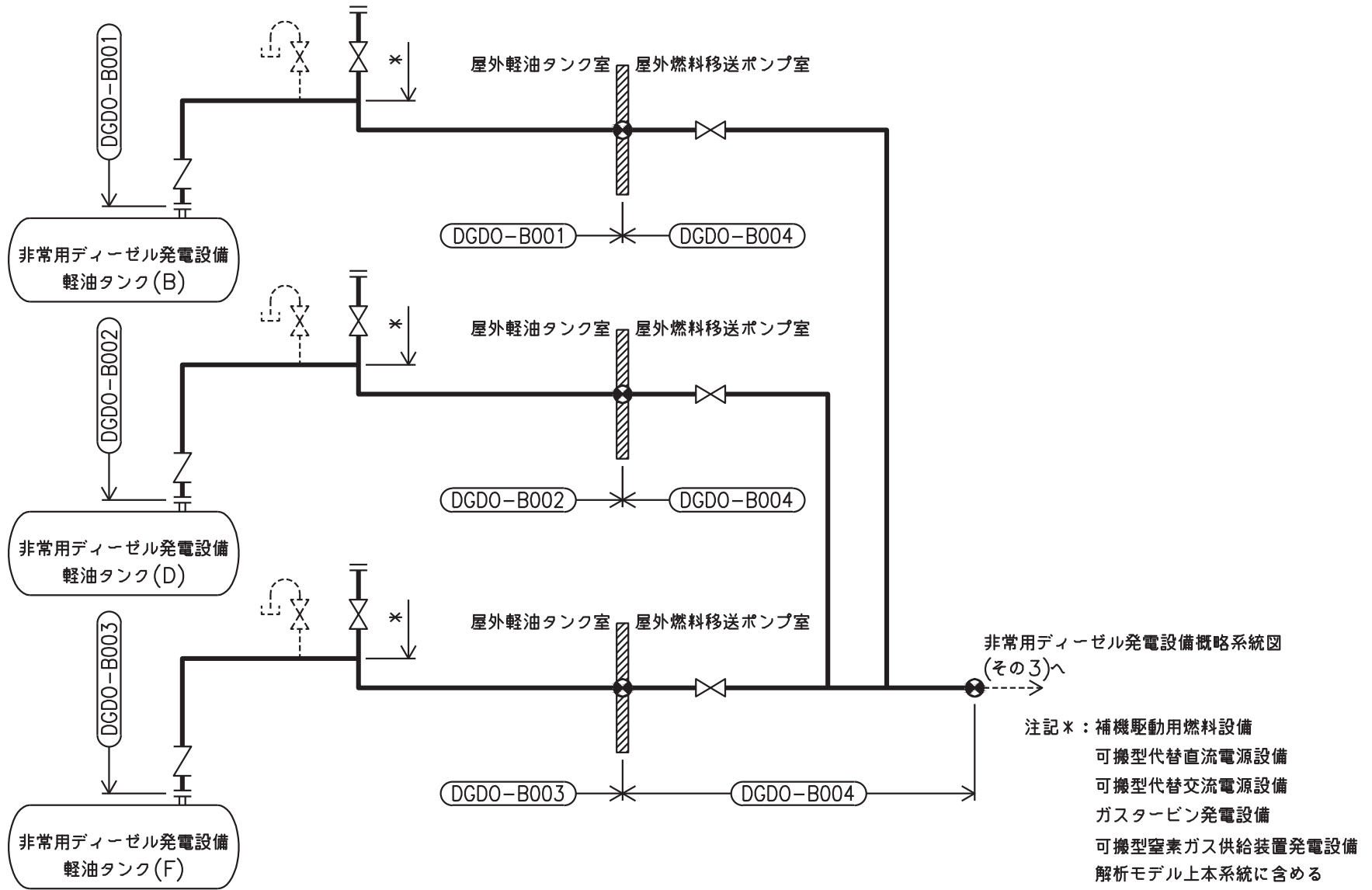
2. 概略系統図及び鳥瞰図  
 2.1 概略系統図

概略系統図記号凡例

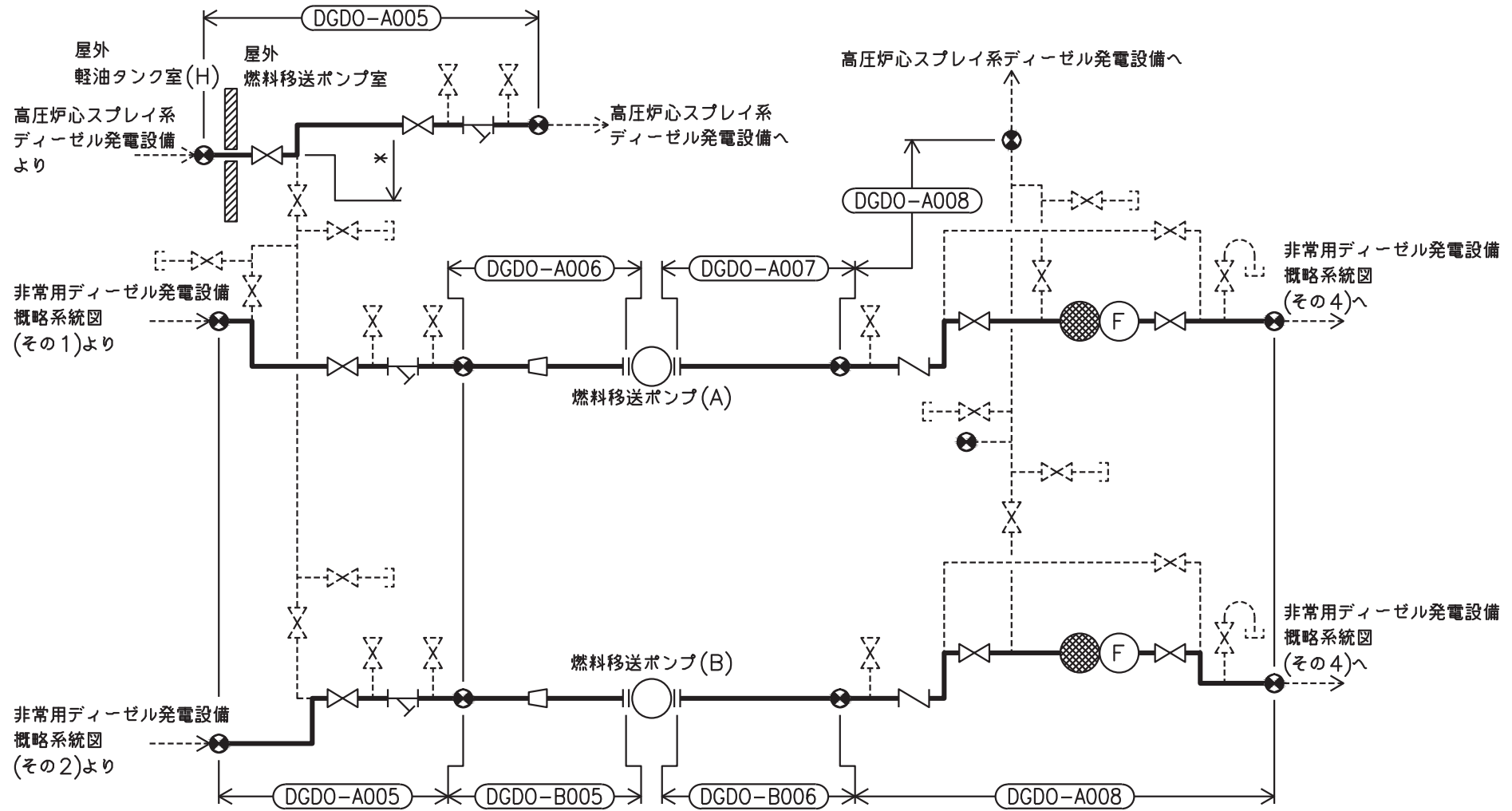
記号	内容
 (太線)	工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管
 (細線)	工事計画記載範囲の管のうち、本系統の管であって他計算書記載範囲の管
 (破線)	工事計画記載範囲外の管又は工事計画記載範囲の管のうち、他系統の管であって系統の概略を示すために表記する管
	鳥瞰図番号
	アンカ



非常用ディーゼル発電設備概略系統図(その1)

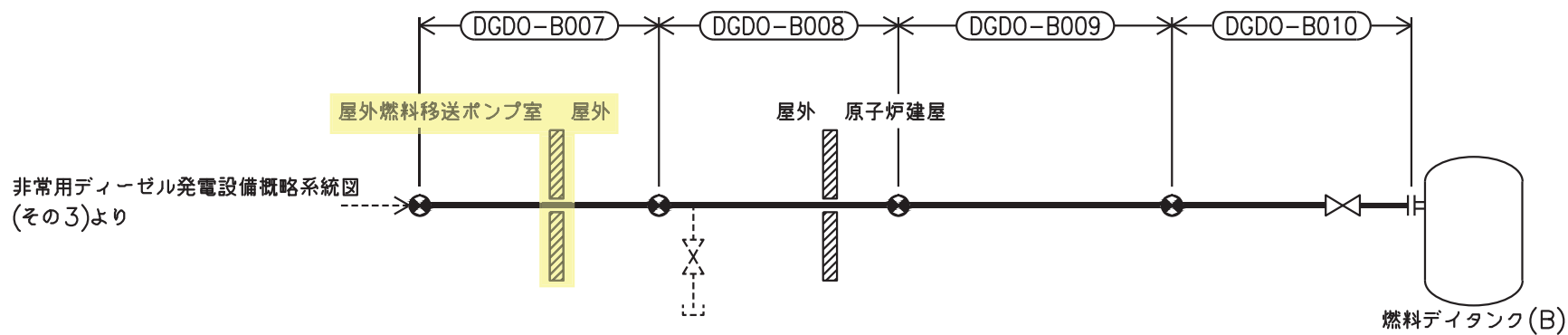
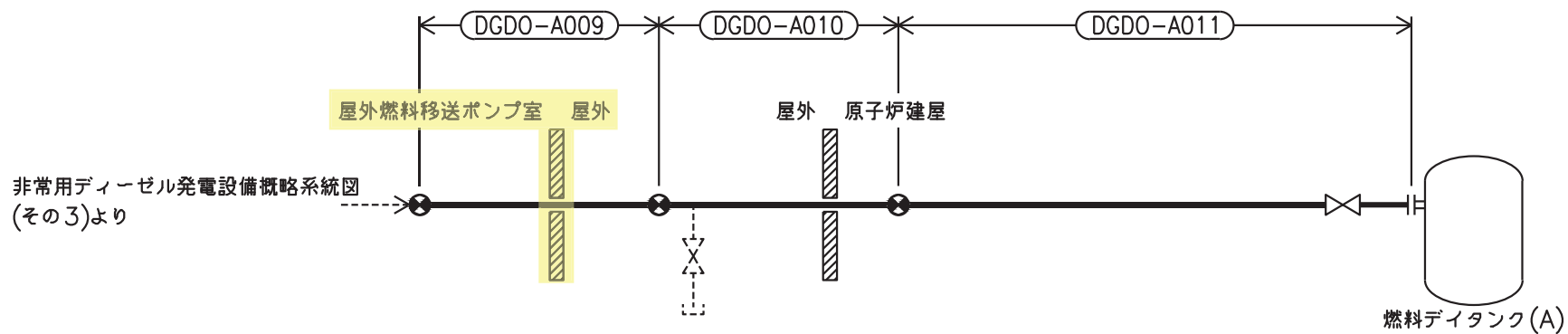


非常用ディーゼル発電設備概略系統図 (その2)



注記\*：高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備  
解析モデル上本系統に含める


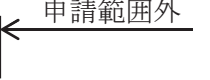



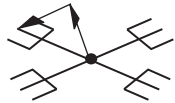
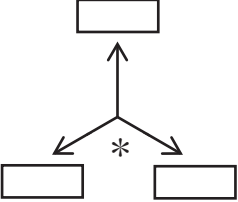
非常用ディーゼル発電設備概略系統図(その3)



非常用ディーゼル発電設備概略系統図(その4)

2.2 鳥瞰図

鳥瞰図記号凡例

記号	内容
	<p>工事計画記載範囲の管のうち、本計算書記載範囲の管</p>
	<p>工事計画記載範囲外の管</p>
	<p>工事計画記載範囲の管のうち、他系統の管であって解析モデルとして本系統に記載する管</p>
	<p>質点</p>
	<p>アンカ</p>
	<p>レストレイント (矢印は斜め拘束の場合の全体座標系における拘束方向成分を示す。)</p>
	<p>拘束点の地震による相対変位量(mm) (*は評価点番号, 矢印は拘束方向を示す。また, <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span> 内に 変位量を記載する。)</p>

鳥瞰図 DGDO-B008< 1/6 >

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



鳥瞰図 DGDO-B008<2/6>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 | DGDO-B008<3/6>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDO-B008< 4/6 >

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDO-B008<5/6>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 | DGDO-B008<6/6>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 | DGDO-B009< 1/4 >

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDO-B009<2/4>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDO-B009<3/4>

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



鳥瞰図 | DGDO-B009< 4/4 >

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

### 3. 計算条件

#### 3.1 計算方法

管の構造強度評価は、「基本方針」に記載の評価方法に基づき行う。解析コードは、「SOLVER」及び「NX NASTRAN」を使用し、解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については、添付書類「VI-5 計算機プログラム（解析コード）の概要」に示す。

3.2 荷重の組合せ及び許容応力状態

本計算書において考慮する荷重の組合せ及び許容応力状態を下表に示す。

施設名称	設備名称	系統名称	施設分類*1	設備分類*2	機器等の区分	耐震重要度分類	荷重の組合せ*4,*5	許容応力状態*6
非常用電源設備	非常用発電装置	非常用ディーゼル発電設備	SA	常設耐震／防止 常設／緩和 常設／防止 (DB 拡張) 常設／緩和 (DB 拡張)	—*3	—	$V_L + S_s$	$V_{AS}$

注記\*1：DB は設計基準対象施設，SA は重大事故等対処設備を示す。

\*2：「常設耐震／防止」は常設耐震重要重大事故防止設備，「常設／緩和」は常設重大事故緩和設備，「常設／防止 (DB 拡張)」は常設重大事故防止設備 (設計基準拡張)，「常設／緩和 (DB 拡張)」は常設重大事故緩和設備 (設計基準拡張) を示す。

\*3：重大事故等クラス 2 管の荷重の組合せ及び許容応力状態を適用する。

\*4：運転状態の添字 L は荷重を示す。

\*5：許容応力状態ごとに最も厳しい条件又は包絡条件を用いて評価を実施する。

\*6：許容応力状態  $V_{AS}$  は許容応力状態  $IV_{AS}$  の許容限界を使用し，許容応力状態  $IV_{AS}$  として評価を実施する。

### 3.3 設計条件

鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管名称で区分し、管名称と対応する評価点番号を示す。

鳥 瞰 図                    D G D O - B 0 0 8

管名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	耐震 重要度分類	縦弾性係数 (MPa)
1	0.98	66	60.5	5.5	STPT370	—	200360

設計条件

管名称と対応する評価点

評価点の位置は鳥瞰図に示す。

鳥 瞰 図                    DGDO-B008

管名称	対応する評価点												
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78
	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91
	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104
	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130
	131	132	133										

配管の質量（付加質量含む）

鳥 瞰 図 DGDO-B008

評価点の質量を下表に示す。

評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)
1		28		55		82		109	
2		29		56		83		110	
3		30		57		84		111	
4		31		58		85		112	
5		32		59		86		113	
6		33		60		87		114	
7		34		61		88		115	
8		35		62		89		116	
9		36		63		90		117	
10		37		64		91		118	
11		38		65		92		119	
12		39		66		93		120	
13		40		67		94		121	
14		41		68		95		122	
15		42		69		96		123	
16		43		70		97		124	
17		44		71		98		125	
18		45		72		99		126	
19		46		73		100		127	
20		47		74		101		128	
21		48		75		102		129	
22		49		76		103		130	
23		50		77		104		131	
24		51		78		105		132	
25		52		79		106		133	
26		53		80		107			
27		54		81		108			

支持点及び貫通部ばね定数

鳥 瞰 図            DGDO-B008

支持点部のばね定数を下表に示す。

支持点番号	各軸方向ばね定数 (N/mm)			各軸回り回転ばね定数 (N・mm/rad)		
	X	Y	Z	X	Y	Z
1						
6						
10						
12						
17						
22						
24						
28						
31						
35						
40						
44						
49						
53						
58						
60						
64						
66						
71						
75						
78						
80						
82						
84						
89						
93						
98						
102						
107						
111						

O 2 ⑤ VI-2-10-1-2-1-6 (重) R 0

支持点及び貫通部ばね定数

鳥 瞰 図            DGDO-B008

支持点部のばね定数を下表に示す。

支持点番号	各軸方向ばね定数 (N/mm)			各軸回り回転ばね定数 (N・mm/rad)		
	X	Y	Z	X	Y	Z
113						
115						
117						
119						
124						
129						
133						

O 2 ⑤ VI-2-10-1-2-1-6 (重) R 1



設計条件

鳥瞰図番号ごとに設計条件に対応した管名称で区分し、管名称と対応する評価点番号を示す。

鳥 瞰 図                    D G D O - B 0 0 9

管名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	耐震 重要度分類	縦弾性係数 (MPa)
1	0.98	66	60.5	5.5	STPT370	—	200360

設計条件

管名称と対応する評価点

評価点の位置は鳥瞰図に示す。

鳥 瞰 図                    D G D O - B 0 0 9

管名称	対応する評価点												
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78
	79	80	81	82									

配管の質量（付加質量含む）

鳥 瞰 図 DGDO-B009

評価点の質量を下表に示す。

評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)	評価点	質量(kg)
1		18		35		52		69	
2		19		36		53		70	
3		20		37		54		71	
4		21		38		55		72	
5		22		39		56		73	
6		23		40		57		74	
7		24		41		58		75	
8		25		42		59		76	
9		26		43		60		77	
10		27		44		61		78	
11		28		45		62		79	
12		29		46		63		80	
13		30		47		64		81	
14		31		48		65		82	
15		32		49		66			
16		33		50		67			
17		34		51		68			

O2 ⑤ VI-2-10-1-2-1-6 (重) R0

支持点及び貫通部ばね定数

鳥 瞰 図            DGDO-B009

支持点部のばね定数を下表に示す。

支持点番号	各軸方向ばね定数 (N/mm)			各軸回り回転ばね定数 (N・mm/rad)		
	X	Y	Z	X	Y	Z
1						
6						
10						
14						
18						
21						
25						
31						
35						
38						
42						
47						
52						
57						
59						
62						
66						
69						
71						
74						
76						
82						

O 2 ⑤ VI-2-10-1-2-1-6 (重) R 0

### 3.4 材料及び許容応力評価条件

使用する材料の最高使用温度での許容応力評価条件を下表に示す。

材料	最高使用温度 (°C)	S m (MPa)	S y (MPa)	S u (MPa)	S h (MPa)
STPT370	66	—	199	360	93

### 3.5 設計用地震力

本計算書において考慮する設計用地震力の算出に用いる設計用床応答曲線を下表に示す。

なお、設計用床応答曲線は、添付書類「VI-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針」に基づき策定したものをを用いる。また、減衰定数は、添付書類「VI-2-1-6 地震応答解析の基本方針」に記載の減衰定数を用いる。

本計算書の疲労評価は、設備ごとに個別に設定した等価繰返し回数225回（S<sub>s</sub>）で実施する。

鳥瞰図	建物・構築物	標高 (O. P. (m))	減衰定数 (%)
DGDO-B008	軽油タンク室 連絡ダクト		
	原子炉建屋		

### 設計用地震力

本計算書において考慮する設計用地震力の算出に用いる設計用床応答曲線を下表に示す。

なお、設計用床応答曲線は、添付書類「VI-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針」に基づき策定したものをを用いる。また、減衰定数は、添付書類「VI-2-1-6 地震応答解析の基本方針」に記載の減衰定数を用いる。

鳥瞰図	建物・構築物	標高(O. P. (m))	減衰定数(%)
DGDO-B009	原子炉建屋		

4. 解析結果及び評価

4.1 固有周期及び設計震度

鳥 瞰 図 DGDO-B008

適用する地震動等		S <sub>d</sub> 及び静的震度			S <sub>s</sub>			
モード	固有周期 (s)	応答水平震度*1		応答鉛直震度*1	応答水平震度*1		応答鉛直震度*1	
		X方向	Z方向	Y方向	X方向	Z方向	Y方向	
1次								
2次								
3次								
4次								
5次								
6次								
7次								
8次								
28次								
29次*2								
動的震度*3								
静的震度*4								

注記\*1：各モードの固有周期に対し、設計用床応答曲線より得られる震度を示す。

\*2：固有周期が0.050s以下であることを示す。

\*3：S<sub>d</sub>又はS<sub>s</sub>地震動に基づく設計用最大床応答加速度より定めた震度を示す。

\*4：3.6C<sub>I</sub>及び1.2C<sub>V</sub>より定めた震度を示す。



各モードに対応する刺激係数

鳥 瞰 図 DGDO-B008

モード	固有周期 (s)	刺激係数*		
		X方向	Y方向	Z方向
1次				
2次				
3次				
4次				
5次				
6次				
7次				
8次				
28次				

注記\* : 刺激係数は、モード質量を正規化し、固有ベクトルと質量マトリックスの積から算出した値を示す。

## 代表的振動モード図

振動モード図は、3次モードまでを代表とし、各質点の変位の相対量・方向を破線で図示し、次ページ以降に示す。

鳥瞰図 DGDD-B008

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDD-B008

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDD-B008

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

解析結果及び評価

固有周期及び設計震度

鳥 瞰 図 DGDO-B009

適用する地震動等		S <sub>d</sub> 及び静的震度			S <sub>s</sub>		
モード	固有周期 (s)	応答水平震度*1		応答鉛直震度*1	応答水平震度*1		応答鉛直震度*1
		X方向	Z方向	Y方向	X方向	Z方向	Y方向
1次							
2次							
3次							
4次							
5次							
6次							
7次							
8次							
16次							
17次*2							
動的震度*3							
静的震度*4							

注記\*1：各モードの固有周期に対し、設計用床応答曲線より得られる震度を示す。

\*2：固有周期が0.050 s以下であることを示す。

\*3：S<sub>d</sub>又はS<sub>s</sub>地震動に基づく設計用最大床応答加速度より定めた震度を示す。

\*4：3.6C<sub>I</sub>及び1.2C<sub>V</sub>より定めた震度を示す。

各モードに対応する刺激係数

鳥 瞰 図 DGDO-B009

モード	固有周期 (s)	刺激係数*		
		X 方向	Y 方向	Z 方向
1 次				
2 次				
3 次				
4 次				
5 次				
6 次				
7 次				
8 次				
16 次				

注記\* : 刺激係数は、モード質量を正規化し、固有ベクトルと質量マトリックスの積から算出した値を示す。

## 代表的振動モード図

振動モード図は、3次モードまでを代表とし、各質点の変位の相対量・方向を破線で図示し、次ページ以降に示す。



鳥瞰図	DGDD-B009
-----	-----------

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDD-B009

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

鳥瞰図 DGDD-B009

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

4.2 評価結果

4.2.1 管の応力評価結果

下表に示すとおり最大応力及び疲労累積係数はそれぞれの許容値以下である。

重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管

鳥瞰図	許容応力 状態	最大応力 評価点	最大応力 区分	一次応力評価 (MPa)		一次+二次応力評価 (MPa)		疲労評価
				計算応力 S p r m (S s)	許容応力 0.9 S u	計算応力 S n (S s)	許容応力 2 S y	疲労累積係数 U S s
DGDO-B008	V <sub>A</sub> S	19	S p r m (S s)	105	324	—	—	—
	V <sub>A</sub> S	77	S n (S s)	—	—	439 *	398	0.3152

\*印は一次+二次応力が許容応力を超えていることを示し、簡易弾塑性解析を行い疲労評価の結果疲労累積係数が1以下であり許容値を満足している。

評価結果

管の応力評価結果

下表に示すとおり最大応力及び疲労累積係数はそれぞれの許容値以下である。

重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管

鳥瞰図	許容応力 状態	最大応力 評価点	最大応力 区分	一次応力評価 (MPa)		一次+二次応力評価 (MPa)		疲労評価
				計算応力 S p r m ( S s )	許容応力 0.9 S u	計算応力 S n ( S s )	許容応力 2 S y	疲労累積係数 U S s
DGDO-B009	V <sub>A</sub> S	47	S p r m ( S s )	125	324	—	—	—
	V <sub>A</sub> S	47	S n ( S s )	—	—	217	398	—

4.2.2 支持構造物評価結果

下表に示すとおり計算応力及び計算荷重はそれぞれの許容値以下である。

支持構造物評価結果 (荷重評価)

支持構造物 番号	種類	型式	材質	温度 (°C)	評価結果	
					計算 荷重 (kN)	許容 荷重 (kN)
—	—	—	—	—	—	—

支持構造物評価結果 (応力評価)

支持構造物 番号	種類	型式	材質	温度 (°C)	支持点荷重						評価結果		
					反力 (kN)			モーメント (kN・m)			応力 分類	計算 応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)
					F <sub>x</sub>	F <sub>y</sub>	F <sub>z</sub>	M <sub>x</sub>	M <sub>y</sub>	M <sub>z</sub>			
2T2C-014-01	レストレイント	ラグ	SM400B	66	2	2	11	—	—	—	組合せ	101	118
TH-006-01	アンカ	ラグ	SM400B	66	15	1	3	0	2	1	組合せ	101	129

4.2.3 弁の動的機能維持評価結果



弁番号	形式	要求機能	機能維持評価用加速度 ( $\times 9.8 \text{ m/s}^2$ )		機能確認済加速度 ( $\times 9.8 \text{ m/s}^2$ )	
			水平	鉛直	水平	鉛直
—	—	—	—	—	—	—

4.2.4 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果（重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管）

No.	配管モデル	許容応力状態 V <sub>A</sub> S												
		一次応力					一次+二次応力					疲労評価		
		評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	疲労累積係数	代表
1	DGDO-A001	29	97	366	3.77	—	29	191	462	2.41	—	—	—	—
2	DGDO-A002	46	85	366	4.30	—	46	167	462	2.76	—	—	—	—
3	DGDO-A003	40	64	366	5.71	—	40	116	462	3.98	—	—	—	—
4	DGDO-A004	12	23	366	15.91	—	36	35	398	11.37	—	—	—	—
5	DGDO-A005	65	48	324	6.75	—	190	386	462	1.19	—	—	—	—
6	DGDO-A006	6	6	324	54.00	—	6	2	398	199.00	—	—	—	—
7	DGDO-A007	1	5	324	64.80	—	1	2	398	199.00	—	—	—	—
8	DGDO-A008	83	115	324	2.81	—	83	223	398	1.78	—	—	—	—



代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果 (重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

No.	配管モデル	許容応力状態 $V_A S$												
		一次応力					一次+二次応力					疲労評価		
		評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	計算応力 (MPa)	許容応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	疲労累積係数	代表
9	DGDO-A009	21	40	324	8.10	—	7	160	398	2.48	—	—	—	—
10	DGDO-A010	34	115	324	2.81	—	76	285	398	1.39	—	—	—	—
11	DGDO-A011	13	35	324	9.25	—	12	88	398	4.52	—	—	—	—
12	DGDO-B001	36	66	366	5.54	—	36	120	462	3.85	—	—	—	—
13	DGDO-B002	39	65	366	5.63	—	39	118	462	3.91	—	—	—	—
14	DGDO-B003	49	84	366	4.35	—	49	165	462	2.80	—	—	—	—
15	DGDO-B004	40	22	324	14.72	—	40	39	398	10.20	—	—	—	—
16	DGDO-B005	6	6	324	54.00	—	6	2	398	199.0	—	—	—	—
17	DGDO-B006	1	5	324	64.80	—	1	2	398	199.0	—	—	—	—

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果 (重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

No.	配管モデル	許容応力状態 V <sub>A</sub> S												
		一次応力					一次+二次応力					疲労評価		
		評価点	計算 応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	計算 応力 (MPa)	許容 応力 (MPa)	裕度	代表	評価点	疲労 累積 係数	代表
18	DGDO-B007	1	68	324	4.76	—	9	142	398	2.80	—	—	—	—
19	DGDO-B008	19	105	324	3.08	—	77	439	398	0.90	○	61	0.4011	○
20	DGDO-B009	47	125	324	2.59	○	47	217	398	1.83	—	—	—	—
21	DGDO-B010	18	43	324	7.53	—	18	79	398	5.03	—	—	—	—